



平成26年8月12日

各位

会社名 株式会社東理ホールディングス  
(コード番号 5856 東証第2部)  
代表者名 代表取締役社長 福村 康廣  
問合せ先 取締役副社長 藤原 克英  
(TEL. 03-5524-7851)

## 特別損益等の計上、平成27年3月期第2四半期 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年7月1日付「特別利益の計上、平成27年3月期第2四半期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました、平成27年3月期第2四半期及び通期業績予想並びに平成27年3月期第2四半期個別及び通期個別業績予想を、特別損益等の計上及び最近の業績動向等を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### I. 特別損益等の計上について

##### 1. 特別利益の計上

個別業績に反映されるもの

- ・当社への消費税等の還付金及び還付加算金・・・203百万円
- ・子会社（㈱エスジーエヌ）吸収合併による抱合株式消滅差益・・・2百万円

連結業績に反映されるもの

- ・子会社（㈱東京理化工業所）への消費税等の還付金及び還付加算金・・・37百万円

##### 2. 特別損失の計上

個別業績に反映されるもの

- ・弁護士費用計上・・・8百万円

連結業績に反映されるもの

- ・子会社（㈱東京理化工業所）での弁護士費用計上・・・1百万円
- ・子会社（㈱創育）の事務所移転損失及び事務所移転損失引当金計上・・・39百万円

##### 3. 営業外収益の計上

個別業績に反映されるもの

- ・貸倒引当金戻入・・・3百万円
- ・有価証券運用益・・・1百万円

連結業績に反映されるもの

- ・子会社（㈱東京理化工業所）の廃棄有価物売却益・・・8百万円
- ・子会社（㈱グローバルフード&リカーサプライ）の転貸不動産賃貸料・・・6百万円

##### 4. 営業外費用の計上

連結業績に反映されるもの

- ・子会社（㈱グローバルフード&リカーサプライ）の転貸不動産賃借料・・・6百万円
- ・子会社（㈱ボン・サンテ）の通貨及び金利交換取引契約による損失・・・9百万円

## II. 業績予想の修正について

### 1. 連結業績予想数値の修正（金額の単位：百万円）

(1) 平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	9,288	△13	△3	195	2円10銭
今回修正予想 (B)	9,270	78	94	271	2円91銭
増減額 (B-A)	△18	92	97	75	—
増減率 (%)	△0.2	—	—	38.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年9月中間期)	10,064	59	290	261	2円81銭

(2) 平成27年3月期通期業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,338	439	460	621	6円65銭
今回修正予想 (B)	19,309	458	484	623	6円68銭
増減額 (B-A)	△29	18	24	2	—
増減率 (%)	△0.2	4.3	5.3	0.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	20,651	290	617	451	4円85銭

### 2. 個別業績予想数値の修正（金額の単位：百万円）

(1) 平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	350	60	61	239	2円56銭
今回修正予想 (B)	351	40	48	240	2円58銭
増減額 (B-A)	1	△20	△12	1	—
増減率 (%)	0.3	△33.3	△20.6	0.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年9月中間期)	488	39	357	386	4円16銭

(2) 平成27年3月期通期業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	707	157	159	336	3円60銭
今回修正予想 (B)	708	137	146	337	3円62銭
増減額 (B-A)	1	△20	△12	1	—
増減率 (%)	0.2	△12.7	△7.9	0.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	865	123	495	467	5円02銭

### 3. 業績修正の理由

#### (1) 連結業績について

第2四半期累計期間につきまして、営業利益、経常利益及び純利益が前回の予想を上回り、売上高が前回の予想を下回りました。

その主な理由といたしましては、売上高につきましては、ダイカスト事業（22百万円）及び食品流通事業（28百万円）における増加、酒類製造事業（△9百万円）、教育関連事業（△45百万円）及びリフォーム事業（△15百万円）における減少によるものであります。営業利益につきましては、ダイカスト事業（13百万円）、食品流通事業（4百万円）、酒類製造事業（14百万円）、教育関連事業（88百万円）における粗利率の向上等による利益の増加であります。経常利益につきましては、営業利益への影響要因、営業外収益及び営業外費用によるものであります。純利益につきましては、経常利益への影響要因、特別利益及び特別損失によるものであります。

通期につきましては、営業利益、経常利益及び純利益が前回の予想を上回り、売上高が前回の予想を下回りました。

その主な理由といたしましては、売上高につきましては、ダイカスト事業（28百万円）及び食品流通事業（28百万円）における増加、酒類製造事業（△9百万円）、教育関連事業（△62百万円）及びリフォーム事業（△15百万円）における減少によるものであります。営業利益につきましては、ダイカスト事業（20百万円）、食品流通事業（4百万円）、酒類製造事業（14百万円）、教育関連事業（8百万円）における粗利率の向上等による利益の増加であります。経常利益につきましては、営業利益への影響要因、営業外収益及び営業外費用によるものであります。純利益につきましては、経常利益への影響要因、特別利益及び特別損失によるものであります。

#### (2) 個別業績について

第2四半期累計期間につきましては、売上高及び純利益が前回の予想を上回りましたが、営業利益及び経常利益が前回の予想を下回りました。

その主な理由といたしましては、売上高につきましては、子会社からの受取利息の増加によるものであります。営業利益につきましては、販管費の増加による利益の減少であります。経常利益につきましては、営業利益への影響要因、営業外収益によるものであります。純利益につきましては、経常利益への影響要因、特別利益及び特別損失によるものであります。

通期につきましては、売上高及び純利益が前回の予想を上回りましたが、営業利益及び経常利益が前回の予想を下回りました。

その主な理由といたしましては、第2四半期累計期間に対する影響要因によるものであります。

(参考) 平成26年7月1日付 「特別利益の計上、平成27年3月期第2四半期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」

平成26年5月15日付 「平成26年3月期 決算短信」

以上